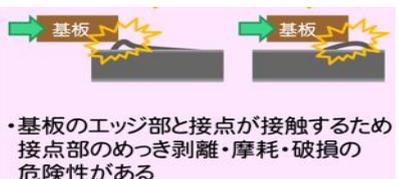
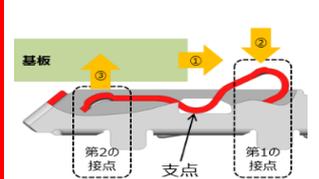


展示No. 岩手県 60	提案名 車載品質にマッチしたカードエッジコネクタ による低背化とコネクタ自動嵌合の実現	区分 電子部品	分類 電池
		工法	新規性 その他(業界最先端)

提案の狙い	適用可能な製品/分野
<input checked="" type="checkbox"/> 原価低減 <input checked="" type="checkbox"/> 質量低減 <input checked="" type="checkbox"/> 生産(作業)性向上 <input checked="" type="checkbox"/> 品質/性能向上 <input type="checkbox"/> 安全/環境対策 <input type="checkbox"/> その他	ECU全般

従来	新技術・新工法
従来のカードエッジ  <p>・基板のエッジ部と接点が接触するため接点部のめつき剥離・摩耗・破損の危険性がある</p>	 <p>通常のカードエッジコネクタは接点が1つだが、SeesawEdgeは基板のエッジに干渉しない第二接点で接続保証が実現</p>

SeesawEdgeを使用する事により基板用コネクタ削減が可能となり下記3つのポイントが実現出来ます

 <p>基板用コネクタをハンダにて実装している</p>  <p>基板搭載部品でコネクタが背が高い</p>  <p>コネクタ嵌合はピン形状であるため手作業が必要</p>	<p>1 </p> <ul style="list-style-type: none"> ・部品点数削減 ・実績費用削減 ・ハンダレス <p>2 </p> <p>上下で基板を挟み込む構造により低背化の実現</p> <p>3 </p> <p>ピンとの嵌合ではなく基板との嵌合により自動化が実現</p> 
---	--

セールスポイント(製造可能な精度/材質等)	問題点(課題)と対応方法 基板厚さの仕上がり寸法公差が非常に大きい。接点バネの可動領域のを大きく取れる形状(寸法)に仕上げています
-----------------------	--

開発進度 (2026年1月 現在) 試作/実験段階	パテント有無 有 : (No.6198365)				
従来比較	生産性	作業性	その他		
コスト 50%減	品質 60減	品質 向上	生産性 80%向上	作業性 無人化の実現	その他 ハンダを使用しない環境配慮

会社名 日本端子株式会社花泉工場	所在地 岩手県一関市花泉町桶津38-208 本社: 神奈川県平塚市八重咲町26-7
連絡先 部署名: 営業技術本部 営業企画部 企画課 担当名: 黒石 紀仁	URL : https://www.nippon-tanshi.com Tel No. : 0463-63-1159 E-mail : kuroishi@nippon-tanshi.jp
主要取引先 住友電装株式会社 株式会社デンソー スタンレー電気株式会社 小糸製作所株式会社 パナソニック株式会社	海外対応 <input checked="" type="checkbox"/> 可 中国 <input type="checkbox"/> 否